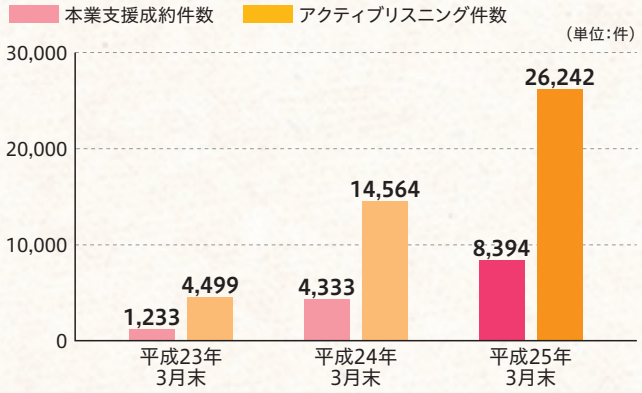
地域の皆様とともに

きらやか銀行の本業支援

●本業支援成約件数・アクティブリスニング件数累計



当行では、「本業支援」の本質は、経営者の方から、アクティブリスニング（企業の問題点・課題・悩みをお聴きし、共有する活動）を通してお聴きした事業ニーズを一緒に考え解決することで、お客さまに喜んでいただくことにあると考えております。このアクティブリスニングによる本業支援は、じもとグループとして当行及び仙台銀行の両行が長期的戦略として、全行員が組織的かつ継続的に取り組んでおります。

取り組み事例

被災地復興を手掛けるお取引先への本業支援

当行では、地域の皆さまと共に“活きる”を経営方針に掲げ、本業支援を組織的に展開しております。今回は、「被災地復興を手掛けるお取引先への本業支援」の事例をご紹介いたします。

お取引先　A社（大手鋼材メーカー関連不動産業者）

強 み：独自工法による短納期・ローコストが可能　　販 路：岩手県

当行の発想

宮城県（被災地）の**住環境整備**に繋げられないか？　これにより

〈A社〉の独自工法を活かした**復興支援の促進**に繋がるのではないか？

そこで

〈A社〉に対し、集団移転促進事業策定に携わる〈B社〉への**プレゼンの場**を設定

マッチング成約

マッチングが成約したことにより、〈A社〉グループ企業の東北営業拠点となっている〈C社〉（当行お取引先）の売上も増加。

A社 WIN!	B社 WIN!	C社 WIN!
岩手県のみならず宮城県の販路拡大に繋がった	被災地において、短納期・ローコストが絶対条件の中A社の独自工法のおかげで地方公共団体からの受注拡大	A社の販路拡大により売上増加（地元の雇用も確保）

3社がWIN−WINの関係を構築して、復興住宅の整備に大きく貢献できた。

トピックス

地域密着型金融に対する取り組みで顕彰

当行は、平成25年3月に、東北財務局より「平成24年度地域密着型金融に関する取り組み」で特に先進的でモデルとなる取り組みを行っている金融機関として顕彰されました。顕彰を受けたのは「アクティブリスニングによる本業支援」と「子会社を活用した事業再生支援への取り組み」です。当行はこれからも「地域の皆さまと共に“活きる”」を経営方針とし、地域経済の活性化に一層貢献するべく、お客さまから“もっともっと喜ばれる銀行”を目指してまいります。

東北財務局より顕彰

本業支援をさらに強化。4月に本部組織を改編

当行は、平成25年4月に、当行の営業施策の柱である「アクティブリスニングによる本業支援」を軸とした中小企業融資推進を強化するべく、営業推進部門を中心に、本部の組織改編を実施しました。また、仙台銀行との連携を強化し、仙山圏におけるお客さま同士の仲介機能を拡充するため、「仙台法人営業部」を新設しました。

今後も当行は、じもとグループの戦略であるじもと経済活性化に向けて取り組んでまいります。

新設した仙台法人営業部

地域の企業の皆さまと共に“活きる”本業支援 ホームページ特設サイト

当行では、地域の皆さまと共に“活きる”を経営方針とし、お客さまの経営課題を共有しながら共に解決する「本業支援」に取り組んでいます。

平成25年5月からのテレビCMでは、お客さまの実際の声を紹介し、当行が目指す「お客さまの想い」を形にする本業支援の取り組みを表現しています。また、ホームページに特設サイト「活きる」を開設し、これまでの当行の本業支援に対する取り組みを掲載しております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

http://www.kirayaka.co.jp/ikiru/

きらやか銀行ホームページ「活きる」特設サイト